

2024.1.25

藻類を活用した新事業知財戦略と企業連携

新しい国産資源 「微細藻類」の新産業創出

(一社) さが藻類バイオマス協議会
さが藻類産業研究開発センター
出村幹英

微細藻類と植物プランクトン

大型藻類
(海藻、淡水大型藻類)

世界約2万、日本約2000種

藻類

(サイズ、生息場所で識別した場合)

浮遊性＝
植物プランクトン

付着性

気生性

共生性

微細藻類

○顕微鏡下にて観察可能

○「 μm 」の世界： $1\mu\text{m}=1\text{mm}$ の1/1000

○生息域：全世界（北極の氷の下～南極、淡水、海水、空气中、雪上、壁表面・・・）

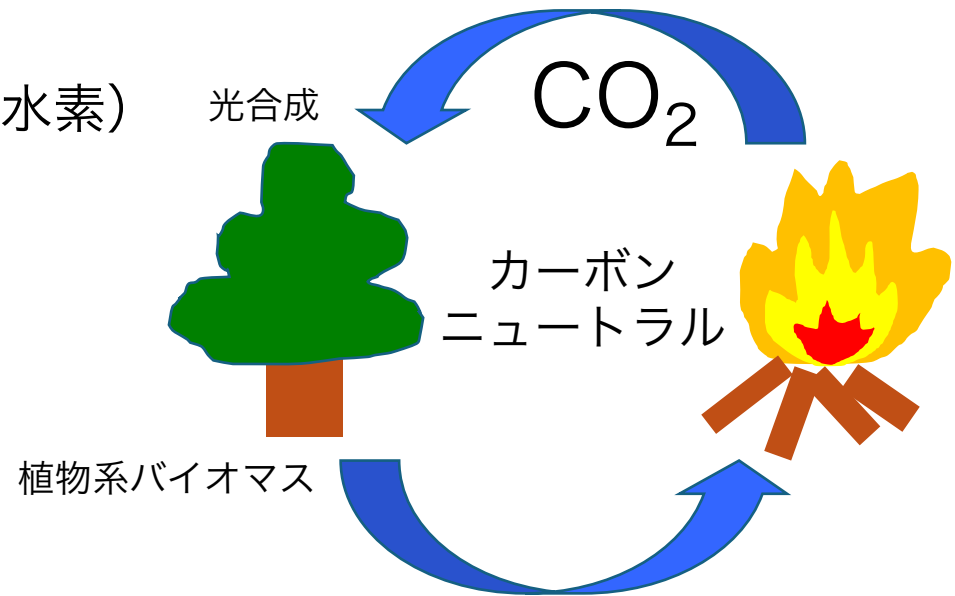
微細藻類の可能性

資源として利用可能な微細藻類由来の物質すべて：微細藻類バイオマス
(生物体そのもの、産生物質：オイル・多糖など、残さ・・・)

注目ポイント

<様々な用途利用>

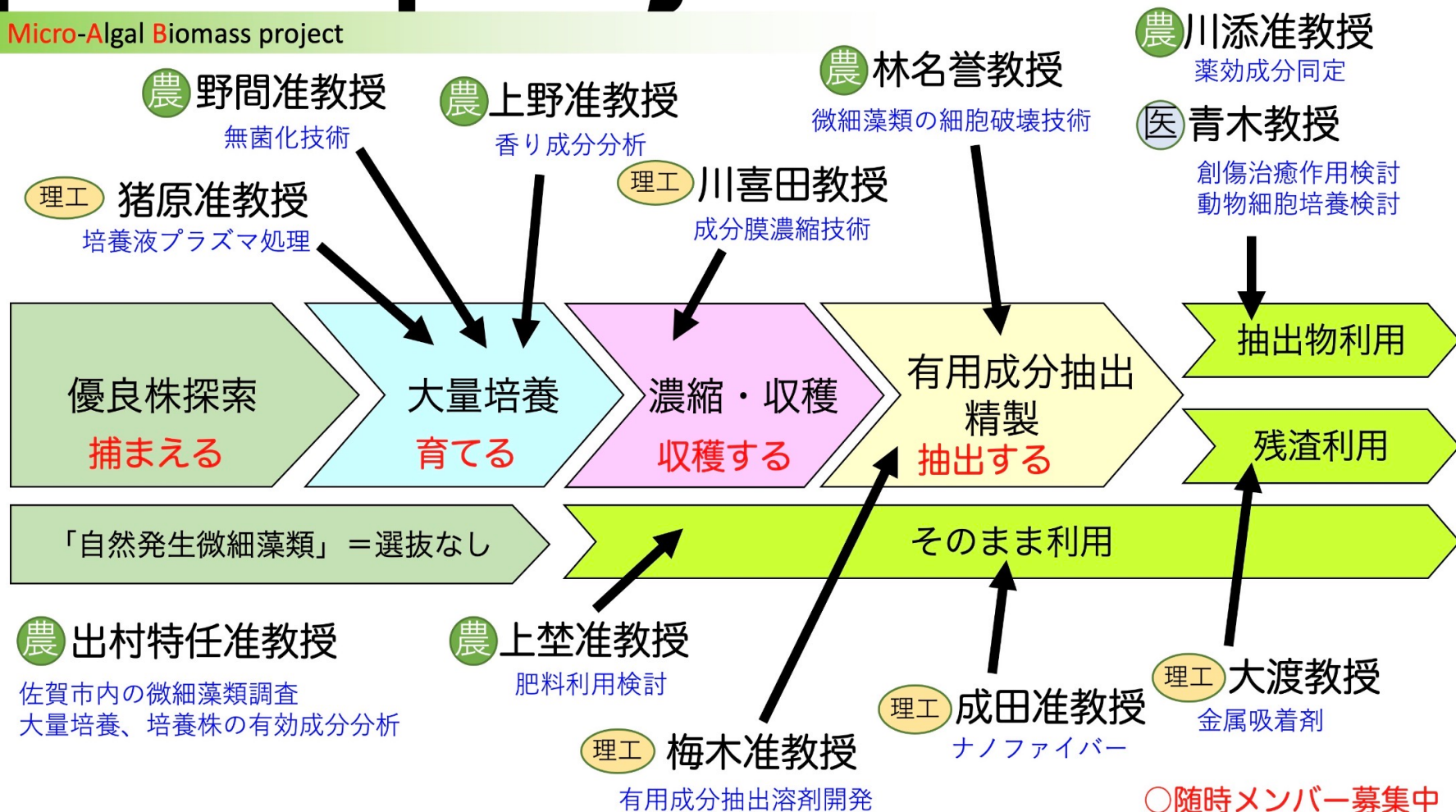
- 燃料＝藻類オイル（脂肪酸、炭化水素）
- 食料（タンパク質）
- 医薬品、サプリメント
(脂肪酸、炭化水素、その他)
- 肥料
- 飼料
- バイオプラスチック



微細藻類バイオマスは植物系バイオマスと同等
「未知・未開拓の植物系バイオマス」

μAB project

Micro-Algal Biomass project



○随時メンバー募集中